



平成 18 年 12 月 4 日

各 位

上場会社名 株式会社ダイフク  
本店所在地 大阪市西淀川区御幣島 3 - 2 - 1 1  
代表者名 代表取締役社長 竹内 克己  
(コード番号 6383 東証・大証1部)

## **ボウリング関連製品販売事業の拡大と販売会社の買収**

株式会社ダイフク（以下、ダイフク）は、このほどボウリング場向け製品の製造・販売事業の分野での 2 大グローバル企業の一つである「QubicaAMF Worldwide（キュービカエーエムエフ ワールドワイド）S.a.r.L.」グループ（以下、QAMF）との間で、同グループの製造するボウリング場向け設備及び関連製品の日本での独占的販売代理店契約を締結するとともに、同グループの日本における全額出資の子会社「キュービカエーエムエフ株式会社」（以下、キュービカエーエムエフ）の株式の 75% を買収することに合意した。

なお、ダイフクは、キュービカエーエムエフの買収契約のクロージング後、速やかにキュービカエーエムエフを「株式会社ダイフク キュービカエーエムエフ」に商号変更しキュービカエーエムエフの従来 of 事業を承継する。同時に、現在、当社の 100% 出資の子会社「株式会社ダイフクキュービカ」（以下、ダイフクキュービカ）が行っている QAMF 製オートスコアラー等の製品の販売事業も同社に統合する。

### 本取引の背景

ダイフクは、1963 年にボウリングマシンを国産化。ピーク時には、全国のボウリング場のおよそ四分の一にマシンを供給した実績がある。その後ボウリングマシンの製造からは撤退したものの、2001 年 12 月にイタリア・キュービカ社と日本における販売代理店契約を締結して、現在までダイフクキュービカを通じてオートスコアラーなどボウリング設備の販売・サービスを行ってきた。

2005 年 10 月、キュービカ社が米国 AMF Bowling Products 社（以下、AMF 社）と統合して、新会社 QAMF が発足した。当社は、QAMF 発足後、日本国内での QAMF 製品の販売体制について、同社と話し合いを進めてきたが、同社グループの製造するボウリング場向け製品を当社が独占的に日本で販売することに合意した。

### 今後の事業展開

国内のボウリング参加人口は約 3,200 万人（レジャー白書 2005）であり、ボウリングは手ごろな費用で、誰もが手軽にできる健康的なスポーツとして、底固く安定した需要がある。

今後、ダイフク キュービカエーエムエフとしては、ボウリング設備に強い AMF 社とオートスコアラーに強い Qubica 社の統合によるシナジー効果で事業拡大を図っていく。なお、新会社ダイフク キュービカエーエムエフは従業員約 30 名、2008 年 3 月期年商約 30 億円を見込んでいる。一方、ダイフクキュービカは、旧来の同社顧客へのサービスを中心としたビジネスを継続して行く。

【ご参考資料】

\* 株式会社ダイフク キュービカエーエムエフ

本社：神奈川県横浜市中区羽衣町3丁目55番1号

会長：飯島 惟精（これきよ）

社長：尾上 正則

資本金：2億3,500万円

売上高：約30億円（2008年3月期見込み）

従業員：約30名

\* キュービカエーエムエフ株式会社

本社：神奈川県横浜市中区羽衣町3丁目55番1号

社長：飯島 惟精

資本金：5百万円

\* 株式会社ダイフク（Daifuku Co., Ltd.）

物流システム・機器の世界的メーカー、システムインテグレーター

本社：大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号

社長：竹内 克己

資本金：80億2300万円（2006年4月現在）

売上高：1,988億円（2006年3月期連結業績）

従業員：4,100名（ダイフクグループ総数）

ホームページ：<http://www.dai fuku.co.jp/>

\* QubicaAMF Worldwide S.a.r.L.

傘下に製造子会社を米国、イタリアに保有する持株会社。

本社：ルクセンブルク ルクセンブルク市

プレジデント兼CEO：ジョン・ウォーカー

ホームページ：<http://www.qubicaamf.com/>

\* 株式会社ダイフクキュービカ

本社：東京都港区芝2丁目14番5号

社長：川野 昇

資本金：9,000万円

売上高：約8億円（2006年3月期）

従業員：10名（2006年11月末現在）

事業内容：ボウリング設備の販売、サービス

問合せ先

株式会社ダイフク CSR部 電話：03 - 3456 - 2245、FAX：03 - 3456 - 2262

以 上